

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 日本フォームサービス株式会社
 コード番号 7869 URL <http://www.forvice.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山下 岳英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼介護事業部担当 (氏名) 大海原 秀人

TEL 03-3636-0011

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	3,245	47.5	99	65.2	126	39.5	69	60.7
24年9月期第3四半期	2,200	17.8	60	17.6	90	8.9	43	54.2

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 72百万円 (68.4%) 24年9月期第3四半期 42百万円 (46.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	17.46	—
24年9月期第3四半期	10.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年9月期第3四半期	4,901		2,946		60.1	
24年9月期	4,595		2,893		63.0	

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 2,946百万円 24年9月期 2,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年9月期	—	0.00	—		
25年9月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,400	16.3	72	49.0	100	14.1	51	28.0	12.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	4,020,000 株	24年9月期	4,020,000 株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	34,692 株	24年9月期	34,692 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	3,985,308 株	24年9月期3Q	3,985,368 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年10月1日から平成25年6月30日)におけるわが国経済は、昨年12月に発足した新政権の経済政策への期待感や日銀の大胆な金融政策の効果によるデフレからの脱却により、株式市場も大いに活況を呈し、大きく株価が上昇、円高の改善等、先行きの明るい兆しも見えております。しかしながら、欧州の財政危機等海外の景気回復に停滞感があることから、引き続き、先行き不透明な経済環境で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループの売上高は32億4千5百万円(前年同期比47.5%増)、営業利益9千9百万円(前年同期比65.2%増)、経常利益は1億2千6百万円(前年同期比39.5%増)、四半期純利益は法人税、住民税及び事業税並びに法人税等調整額を5千7百万円計上したことから、6千9百万円の四半期純利益(前年同期比60.7%増)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

当社グループの主力であります函物及び機械設備関連事業におきましては、19インチラック、アーム関連製品を中心に拡販を進めることで売上高を確保することができました。

さらには前年度より繰越されていた再生可能エネルギー関連製品の大口案件を多く受注することができ、売上高確保に大きく貢献いたしました。その結果、売上高は27億4千万円(前年同期比62.2%増)となり大幅に増加いたしました。

利益面につきましては、継続して生産効率の向上や諸経費等のコスト削減に取り組んでまいりました。しかし、太陽光関連の設計から施工にいたる案件において、十分な利益を得ることができませんでしたが、全体的な売上高の増加に伴い、前年度を大きく上回る売上総利益を確保することができました。以上のことから、セグメント利益(経常利益)は1億3千9百万円(前年同期比111.7%増)となりました。

一方、介護関連事業におきましては、各介護事業者に対して法令遵守を徹底した経営が求められるとともに、介護福祉士等有資格者の人材確保が依然として困難な状況が続くなど、厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループの在宅介護サービスにおきましては、通所介護の稼働率が上昇したものの、訪問介護や訪問入浴介護の顧客数が減少したことにより、売上高は3億6千9百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

また、地域密着型介護サービスにおける認知症対応型共同生活介護につきましては、居室稼働率が減少したものの、小規模多機能型居宅介護で地域ニーズの上昇により新規顧客を獲得することができ、大幅に売上高を確保できたことより、売上高は1億3千6百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

以上の結果、介護関連事業(在宅介護サービス及び地域密着型介護サービス)における売上高は5億5百万円(前年同期比1.0%減)となりました。利益面に関しては、現サービスの充実および新規事業を見据えた人材の新規採用や設備投資を行った結果、セグメント損失(経常損失)は1千3百万円となり、前年同期比で3千7百万円の減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は、49億1百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億5百万円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金が8千5百万円、仕掛品が1億3千4百万円、有形固定資産が8千2百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、19億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億5千3百万円増加いたしました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が3千7百万円、賞与引当金が2千1百万円、長期借入金が1億5千万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、29億4千6百万円となり、前連結会計年度末に比べて5千2百万円増加いたしました。主な要因は、四半期純利益(純資産の増加)6千9百万円および剰余金の配当(純資産の減少)が1千9百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成24年11月15日公表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	226,510	312,459
受取手形及び売掛金	566,848	516,593
商品及び製品	53,827	77,389
仕掛品	38,619	173,576
原材料	148,904	184,991
繰延税金資産	15,351	25,785
その他	38,374	28,219
貸倒引当金	250	250
流動資産合計	1,088,184	1,318,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	833,661	800,762
機械装置及び運搬具(純額)	62,518	179,540
土地	2,244,995	2,228,195
リース資産(純額)	193,695	208,416
その他(純額)	3,750	4,581
有形固定資産合計	3,338,622	3,421,496
無形固定資産	37,532	29,170
投資その他の資産		
投資有価証券	12,967	18,130
繰延税金資産	50,033	48,098
その他	68,581	66,006
投資その他の資産合計	131,582	132,235
固定資産合計	3,507,737	3,582,902
資産合計	4,595,922	4,901,667

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	215,622	161,993
短期借入金	683,500	629,000
1年内返済予定の長期借入金	49,696	87,415
リース債務	45,043	58,594
未払法人税等	42,608	39,388
賞与引当金	15,100	36,262
その他	214,757	347,024
流動負債合計	1,266,328	1,359,678
固定負債		
長期借入金	125,021	275,889
リース債務	183,549	178,186
役員退職慰労引当金	125,057	126,139
長期未払金	-	13,851
その他	2,070	1,720
固定負債合計	435,698	595,786
負債合計	1,702,026	1,955,464
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,950	395,950
資本剰余金	230,000	230,000
利益剰余金	2,284,417	2,334,085
自己株式	14,586	14,586
株主資本合計	2,895,780	2,945,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,885	753
その他の包括利益累計額合計	1,885	753
純資産合計	2,893,895	2,946,202
負債純資産合計	4,595,922	4,901,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,200,526	3,245,994
売上原価	1,521,994	2,514,862
売上総利益	678,531	731,132
販売費及び一般管理費	618,147	631,365
営業利益	60,384	99,766
営業外収益		
受取利息	77	49
受取配当金	213	240
補助金収入	27,929	27,796
その他	14,343	17,061
営業外収益合計	42,563	45,146
営業外費用		
支払利息	8,105	13,527
支払手数料	2,128	1,901
手形売却損	1,044	2,419
その他	919	465
営業外費用合計	12,197	18,315
経常利益	90,750	126,597
特別利益		
固定資産売却益	165	100
国庫補助金	-	23,732
特別利益合計	165	23,832
特別損失		
固定資産除却損	1,270	81
固定資産圧縮損	-	23,522
特別損失合計	1,270	23,604
税金等調整前四半期純利益	89,645	126,824
法人税、住民税及び事業税	52,878	67,190
法人税等調整額	6,534	9,960
法人税等合計	46,344	57,229
少数株主損益調整前四半期純利益	43,301	69,595
四半期純利益	43,301	69,595

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	43,301	69,595
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	394	2,638
その他の包括利益合計	394	2,638
四半期包括利益	42,906	72,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,906	72,233

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,689,315	511,210	2,200,526
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	1,689,315	511,210	2,200,526
セグメント利益	66,020	24,730	90,750

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結損益計算書 計上額 (注)
	函物及び機械 設備関連事業	介護関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	2,740,101	505,892	3,245,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	2,740,101	505,892	3,245,994
セグメント利益又は 損失()	139,794	13,197	126,597

(注) セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載したとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。